

富小

9/7(木)

第2回 学校運営協議会

記録: 田畑

1 資格確認等

2 次第

① はじめの言葉 … 石井 副会長

② あいさつ … 校長

③ 学校経営について

・ランドデザイン ver.3 について

・児童アンケートの結果について

・保護者アンケートの結果について

④ 来年度の教育編成について

・地域との連携について(野外教室等)

⑤ 子どもたちの様子について

⑥ その他 連絡等

⑦ 閉会の言葉 … 石井 副会長

3 質疑

◇ 保護者アンケートの結果について

・読書について

家で読書をしている姿を見かけない。習い事などで時間がとれない。タブレットで動画、SNS … みたいものがある。読書を選択する機会が少ない。

読書で語彙力を身につけたいが … 難しい。()

読みかきで図書室の本を使って図書室の本にふれる機会、

行く手立てを。(読みかきで3冊を1週間で子どもたちに読んでもらいたい本をえらんでもらう → 「えらばなかった本は図書室にあるから、さがしてみてね。」など)

低学年向けの本でも前のめりで読んでくれている。

家に活字が少ない。親が本を読んでくれる形がなりのでは。

クラスの本の入れかえはどうしているのか、朝の読書の様子も見てみたい。()

→ 学校の図書室は市の図書館と同じ類別になっている。図書館にも行ってほしい。

今後、クラス本の入れかえも行なっていきたい。

富戸、子100選は今後も取り組んでいきたい。「読書が楽しい」と子どもたちの中で育つようにしたい。()

家庭で読書をもとめるのは難しい。家で「本を読め」という機会が少ない。子どもが学校で本を読んでいると親は知っているのか。()

→ 学校の方からも本を読んでいることを伝えていく。

小学校では本を読むことをおしえてもらっている。アウトメディアでは読んでいる。読書にふれる機会をつくる学校の手立てはまちがってないのでは。好き、まらいはそれぞれなので、強制するのは…()

→ 強制ではなく楽しさを

◇ 児童アンケートの結果について

自分の考え、思いを言うことは将来に生きていくこと。

友だちの意見をきいて、どう思うか、考えを深めることができるように。

→ 質問できる力が大切。子ども同士でできる様に。

子どものつぶやきには意味がある。それらをひらいてつなげていけるようにしていく。

◇教育課程編成について

・野外教室

スノーケリング体験では安全面を徹底してもらった。

野外教室はコミュニティ・スクールの大玉な目玉。他校ではなかなかできない取り組みなので引きついでいきたい。

富戸の海のゆたかさ、富戸がしかできないことを矢張りもらいたい。
→安全面は今後も行っていく。(夏休み前の着衣泳は安全をうながすいい機会)

今後は、人数したいは2学年合同で行う可能性も。
地域への感謝の気持ちを考えてつたえる(お礼の手紙など)
つながりを大切に、地域の方としっかりとつくっていきたい。

学校での人手が足りない。

→PTA、地域が協力がということが出てくるかもしれない。
今後検討していく。

◇子どもの様子について

活気がある。自分の意見をいっている。声が小さくて聞こえないこともあった。()

集中している。先生は子どもに考えさせる場面をつくらしている。
自分の見、考えをもてないと意見、発信ができないので、
もてるような手立てがあると良い。()

授業に対する意欲は学年が上になるにつれてみがっている
所を感じる。

自分の考えを言ったらおわりではなく、それを聞いた友だちの考え
を聞いてどう思うか。子ども同士の対話を。(考えを深める)
先生がさきにまとめを言ってほう場面も。()

◇その他

・地域伝統の太鼓(しゃもり)、鹿島おどり

子どもたちに興味があれば保存会で練習や成果をみせる
機会をつくらせたい。(しゃもり10/15からういこ始め)

学校でもPRしてもらいたい。

次回 2月20日(火)